

# 賢い消費者になろう ロールプレイング

## ～いろいろな販売方法を知り、適切な選択、 購入の態度を身につける～

(総授業時数：11時間)

### 実施学年、教科など

第2学年(または第1学年) 技術・家庭(家庭分野) B家族と家庭生活(4)家庭生活と消費

### 単元(題材)の目標

- 販売方法の特徴や消費者保護について知り、生活に必要な物資やサービスの適切な選択、購入及び活用ができるようにする。
- 自分の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活を工夫することができるようにする。

### 学習の評価

- 家庭生活と消費について、関心をもって学習活動に取り組み、消費生活をより良くしようとしている。  
(関心・意欲・態度)
- 家庭生活と消費について課題を見つけ、その解決を目指して工夫することができる。  
(工夫・創造)
- 生活に必要な物資やサービスの適切な選択、購入及び活用ができる。  
(技能)
- 家庭生活と消費に関する基礎的な知識を身につけている。  
(知識・理解)

### 展開の特色

- まず、中学生の自分が生活できるのは、家族が働き収入を得、計画を立てて消費や貯蓄をしているからであるということを実感させたいと考えた。そこで、導入では、中学入学時にかかった費用や高校・大学へ進学するために必要な金額を計算させている。また、正しい知識を得て自分の責任で判断・行動することがとても重要であるということを意識づけるために、100万円借りた時の金利の差による1年後・3年後の返済額を比べさせている。
- 生徒にとってできるだけ身近な選択・購入の場面(Tシャツや調髪する店の選択)を設定して、選ぶ際の観点や様々な情報源について考えさせている。生徒の消費生活への興味・関心は高いが、流行や価格に惑わされがちである、品質や安全性、環境への影響などを考慮して商品を選択・購入できるようになることをねらいとしている。
- 販売方法の利点や問題点をロールプレイングにより表現することで、楽しく活動しながら理解できるようにしている。また、生徒の学習意欲を高めるために次のような工夫をしている。
  - ・利点や問題点が明らかになる商品をグループで選択するようにし、商品と販売方法選択との関係に目を向けさせる。
  - ・全員がシナリオ作りに参加できるようにルールを決める。
  - ・シナリオの内容については、学習のねらいが明確になるように丁寧に指導する。
  - ・グループで工夫したり、恥ずかしがらずに演技したりできるように、相互評価を取り入れる。
- 最近よく使われている物(使い捨て商品など)と昔から使われている物を比較して、私たちが簡便さ、安価さを第一に求めたために、様々な問題が起こってきたことについて考えさせている。

入門  
ガイド

小学校における  
入門ガイド

中学校(社会)に  
おける入門ガイド

中学校(技術・家庭)に  
おける入門ガイド

実践事例

幼稚園における  
実践事例

小学校における  
実践事例

中学校における  
実践事例

高等学校における  
実践事例

資料

金融教育に関する  
年間指導計画の例

資料

指導計画

時数	ねらい	学習内容・学習活動
1	○導入 ・より良い暮らしを築くためには、必要な情報を集め、自ら考え判断する力が必要であることがわかる。	○中学校に入学するために購入した物を書き出し、その費用を合計する。 ○高校や大学・専門学校に進学する際に必要な費用を知る。 ○ローンについて知り、実際に100万円借りた時の返済額を計算し金利との関係を理解する。
2 3	○物資やサービスの選択 ・適切に選択するためには、情報収集とその活用が重要であることがわかる。	○Tシャツ(物資)購入や調髪をしてもらう店(サービス)を選択・購入(活用)する際に何を基準に判断するか話し合う。 ○商品選択に役立つ情報源について調べ発表する。
4 5 7(本時)	○販売方法の特徴 ・販売方法の特徴をまとめることができる。  ・支払い方法の特徴が理解できる。  ・より良い消費生活を工夫することができる。	○いろいろな販売方法の利点または問題点を班ごとにロールプレイングで表現する。 ○店舗販売と無店舗販売の利点と問題点をまとめる。  ○様々な支払い方法の特徴を知る。  ○授業で気づいたこと、自分の消費生活に生かしたいことを具体的に書く。
8 10	○消費者としての自覚 ・消費者の権利と責任について理解できる。  ・悪質な商法の種類や特徴、消費生活にかかわる法律を理解できる。  ・自分の生活を見直し、消費者としての自覚を高める。	○契約について知る。 ○消費者の権利と責任について理解する。  ○ビデオ(「振り込め詐欺の実態」)を視聴する。 ○自分や家族の経験や知っていることを発表し合い、悪質商法についてまとめる。 ○消費者を保護する制度や法律について知る。  ○被害に遭わないための方法や、消費者として商品を選択購入する際に気をつけたいことをまとめる。
11	○環境に配慮した消費生活 ・自分の生活が環境に与える影響を知り、環境に配慮した消費生活を工夫することができる。	○チェックシートで自分の生活を振り返る。 ○ゴミの増加を取り上げ、その理由を話し合う。 ○簡便さ、安価さを求めた新しい商品と昔から使われている物を比較する。 ○環境に配慮した消費生活について考える。

金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
◇生活設計の必要性を理解する。	☆これからの授業への意欲が高まるように話を進める。	・フラッシュカード
◇金利計算能力を身につけ、金利の重さに気づく。	☆実際にかかった金額を計算する時には、プライバシーにも配慮する。	・サラ金の広告 ・クレジットカード
◇物資やサービスを見るポイントを知り、適切な選択・購入ができる。	☆家計の消費の中でサービスの占める割合が高くなっていることを押さえる。	・ワークシート「消費生活について考えよう1(物資とサービスの選択)」
◇人には様々な価値観があることをお金の使い方を通じて理解する。	☆情報を集めて検討することが大切であることに気づかせる。	・入場券、広告、公共誌
◇それぞれの販売方法の利点と問題点を理解する。	☆各班で作ったシナリオに利点や問題点がいかがやき表現されているかチェックする。 ☆演技に必要な物を準備し、楽しく取り組めるようにする。 ☆それぞれの販売方法の支払い方法にも注目させる。	・ワークシート「消費生活について考えよう2(いろいろな販売方法)」 ・配役カード ・段ボール箱、帽子 ・「消費生活について考えよう3①(各販売方法の利点と問題点)」 <b>ワークシート No.1</b> (→P.30、別冊ワークシート集※)
◇支払い方法の特徴を知る。		・「消費生活について考えよう3③(シナリオ作成用紙)」 <b>ワークシート No.2</b> (→P.33、別冊ワークシート集※)
◇物資やサービスの内容や使用目的、生活パターンなどに合わせ、適切な販売方法を選ぶことの大切さを理解する。		
◇契約の基本を理解する。 ◇消費者基本法を通じて消費者の権利や義務について知る。	☆クイズを解きながら理解を深められるようにする。	・ワークシート「消費者としての自覚をもとう」
◇悪質商法や詐欺商法を見分け、被害に遭わないようにすることを学ぶ。 ◇クーリング・オフについて知る。	☆現状についてデータを準備しておく。 ☆○×クイズをしてクーリングオフ制度を理解させる。	・『消費生活ハンドブック』 ・ビデオ「振り込め詐欺の実態」 ・○×クイズ
◇トラブルに遭った時の相談窓口を知る。	☆これまでの学習の内容と関連させながらまとめる。 ☆過去の例を示して意欲を高める。	
◇環境や社会に配慮した消費生活ができる。	☆具体的な例を挙げて発表できるように支援する。 ☆ペットボトルと水筒などを比較する。 ☆買い物は投票であるという意識をもって商品を選ぶようにさせる。	・ワークシート「ゴミを減らそう」 ・『消費生活ハンドブック』

※ワークシートは、別冊「入門ガイドの実践ワークシート集」に載っています。

入門ガイド  
小学校における入門ガイド  
中学校(社会)における入門ガイド  
中学校(技術・家庭)における入門ガイド  
実践事例  
幼稚園における実践事例  
小学校における実践事例  
中学校における実践事例  
高等学校における実践事例  
資料  
金融教育に関する年間指導計画の例  
資料

入門ガイド  
小学校における入門ガイド  
中学校(社会)における入門ガイド  
中学校(技術・家庭)における入門ガイド  
実践事例  
幼稚園における実践事例  
小学校における実践事例  
中学校における実践事例  
高等学校における実践事例  
資料  
金融教育に関する年間指導計画の例  
資料

本時の展開

導入(5分)

展開1(20分)

展開2(165分)

まとめ(10分)

学習内容	学習活動
・前時の復習	○Tシャツを購入する際に何を基準にしたか振り返る。
・本時の目標	○本時の目標を知る。 「身近な販売方法の特徴を知り、より良い消費生活について考えよう」
・いろいろな販売方法	○身近な販売方法を考え発表する。 ○店舗販売と無店舗販売に分類しまとめる。
・それぞれの販売方法の利点と問題点(ロールプレイング)	○店舗販売と無店舗販売のいずれかのうち1つの販売方法を取り上げ、その特徴についてロールプレイングにより発表し合う。 ①利点や問題点を考える。 ②利点や問題点を表現しやすい商品を決める。 ③場面・配役を決め、あらすじを決める。 ④それぞれが台詞を考える。 ⑤グループごとにみんなの前で演じる。 ○他のグループのロールプレイングを見ながら気づいた点をワークシートに書く。 ○店舗販売と無店舗販売の利点と問題点をまとめる。 ○様々な支払い方法の特徴を知る。
・学習のまとめ	○自己評価する。授業で気づいたこと、自分の消費生活に生かしたいことを具体的に書く。
・次時の予告	○次時は、契約や消費者の権利や責任について考えることを知る。

【本時の目標】

身近な販売方法の特徴を知り、より良い消費生活について工夫することができる。

【評価の観点】

- ア 身近な販売方法に関心をもち、ロールプレイングに進んで取り組んでいる。(関心・意欲・態度)
- イ それぞれの販売方法の利点や問題点を説明することができる。(知識・理解)
- ウ 学んだことを生かしてより良い消費生活を工夫することができる。(工夫・創造)

金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
◇物資やサービスを選択する観点を確認する。	☆紙袋から洋服を出して見せ、授業への興味・関心をもたせる。	・Tシャツを入れた紙袋
	☆「どこで買ったでしょう?」という発問をして、本時の目標につなげる。  ☆商品購入の場面を具体的に考えられるように、ヒントを準備しておく。	・ワークシート「消費生活について考えよう2(いろいろな販売方法)」  ・フラッシュカード
◇それぞれの販売方法の利点と問題点を理解する。  ◇支払い方法の特徴を知る。	☆あらすじと配役を先に決める、必ず全員が台詞のある役に就く、自分の台詞は自分で考えるという条件を与え、すべての生徒が話し合いに参加できるように配慮する。 ☆各グループで作ったシナリオに利点や問題点がしっかり表現されているかチェックする。 ☆他班のロールプレイングから、それぞれの販売方法の利点と問題点を学ぶこと、分かりやすく演じているグループや人を評価することをあらかじめ伝えておく。 ☆楽しく取り組めるように、演技に必要な物を準備しておく。 ☆利点と問題点をまとめる時に、支払い方法にも注目させる。	・配役カード ・段ボール箱 ・帽子 ・電話 ・カタログ ・眼鏡 ・エプロンなど ・「消費生活について考えよう3①(各販売方法の利点と問題点)」 <b>ワークシート No.1</b> (→P.30、別冊ワークシート集※)  ・「消費生活について考えよう3③(シナリオ作成用紙)」 <b>ワークシート No.2</b> (→P.33、別冊ワークシート集※)
◇物資やサービスの内容、使用目的、生活パターンなどに合わせ、適切な販売方法を選ぶことの大切さを理解する。	☆これまでの消費生活を振り返り、具体的に工夫していきたいことが書けるようになる。 ☆生徒の気づきを大切に積極的に誉める。	

※ワークシートは、別冊「入門ガイドの実践ワークシート集」に載っています。

実践の記録

- ①導入の中学入学時にかかった費用や高校・大学へ進学するために必要な金額の計算や、金利の差による1年後・3年後の返済額を比較する授業では、
- 「えっ～すごい」、「大変」などという声が出るほど、多くの生徒が本当に驚いていた。家族との会話やニュースなどから知っているだろうと思われることでも、改めて説明しなければならないことが多い。家族が働いて自分の生活を支えてくれていること、計画性のある消費・貯蓄が大切であること、より良い暮らしを築くためには知識が必要であることに気づかせることができたように思う。
  - △今年度は、教師が発問して分かった生徒が答える形式だったが、ワークシートを持たせて、個人で書き込ませても良いのではないだろうか。また、電卓を準備させて全員に計算させる方が効果的だと思われる。
- ②身近な選択・購入の場面（Tシャツ購入や調髪する店の選択）を設定して、選ぶ際の観点や様々な情報源について考えさせる授業では、
- とても多くの意見が出され、深く考えられた様子だった。自分とは違う価値観に触れたり、物資とサービスを選択・購入する際の共通点や違いに気づいたりすることができた。
  - △例えば同じ物資を選択する場合でも、電化製品と衣服と食品では違うので、具体例を何にするのが一番良いのか考えていきたい。
- ③販売方法の利点や問題点のロールプレイングでは、
- 利点や問題点が明らかにできる商品をグループで選択するようにしたことで、商品と販売方法選択との関係に目を向けさせることができた。
  - 生徒が主体的に活動する場を作ったことで興味・関心を高め、理解を深めることができた。特に全員がシナリオ作りに参加できるようにルールを決めたことで、普段より意欲的に話し合いを進めることができた。
  - それぞれの販売方法の利点または問題点のどちらか一方を表現することにより、ロールプレイングの目的がより明確になり、見ている生徒も理解しやすくなった。
  - △シナリオの内容については、学習のねらいが明確になるように丁寧な指導が必要であった。教師の適切な支援があったグループのロールプレイングは大変良かったが、支援する時間が十分でなかったために利点や問題点を明確にできなかったグループもあった。
  - △ロールプレイングを見て気づいた点をきちんとまとめないと授業のねらいに迫れないので、十分な時間を取りたいが、どうしても時間不足になりがちである。
  - 相互評価は、工夫して分かりやすく演じようという意欲を高めるために大変効果的だった。
  - △支払い方法についても、販売方法の特徴と関連づけて説明しようと考えていたが、うまくできなかった。別にきちんと押さえた方が望ましいかもしれない。
- ④最近よく使われている物と昔から使われている物を比較する授業では、
- 利便性や安価さを求めすぎることの問題点について具体的な商品を例にして考えることができた。
- ⑤その他
- △自分の消費生活をより良くするための工夫については、「これからの自分の消費生活に生かしたいことを書こう」という欄を設けたり、実践カードも持たせたりして、学んだことを実生活に生かせるようにしたい。